

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	: ラクパッド用 ALGC
一般名称	: ガラスクロスにアルミニウム合金箔を積層させたシート
会社名	: 株式会社古河テクノマテリアル
住所	: 〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡 5-1-8
担当部門	: 防災事業部 品質保証部
電話番号	: 0463-24-9341
FAX 番号	: 0463-24-9346
緊急連絡先	: 0463-24-9341
推奨用途及び使用上の制限	: 主として貫通部防火措置材料として用いる。
会社名(供給者)	: ネグロス電工株式会社
住所	: 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-40-1
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-5628-7122
FAX 番号	: 03-3681-1202
緊急連絡先	: 03-5628-7122

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分に該当しない
酸化性固体	: 区分に該当しない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性化学品	: 区分に該当しない
鈍性化爆発物	: 区分に該当しない

健康有害性

急性毒性(経口)

急性毒性(経皮)

急性毒性(吸入)

皮膚腐食性／刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回暴露)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

誤えん有害性

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)

水生環境有害性 長期(慢性)

オゾン層への有害性

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

: 区分に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険有害性情報

: なし

: なし

: なし

注意書き

安全対策

応急措置

保管

廃棄

他の有害性

: なし

: なし

: なし

: なし

: なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物(成形品)※

基材	成分	官報公示No.	CASNo.
		化審法	
アルミ箔	アルミニウム	—	7429-90-5
接着剤	高分子化合物	既存	非公開
ガラス繊維クロス	アルミナ硼けい酸ガラス	—	65997-17-3

※「成形品」であり GHS の適用範囲外だが、含有化学物質について記載している。

4. 応急措置

- | | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | : 固形物のため該当しない。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 皮膚を刺激する可能性があるので、擦らずに多量の流水で洗い流す。皮膚にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば医師の診断、処置を受ける。 |
| 眼に入った場合 | : 絶対に擦らないこと。正常な水で最低 15 分間、注意深く洗い流す。コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外してその後も洗浄を続ける。もし、目の刺激が継続する場合は医師の診断、処置を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 可能な限り吐き出し、必要に応じて医師の診断、処置を受ける。 |
-

5. 火災時の措置

- | | |
|--------------|---|
| 適切な消火剤 | : 粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂など。 |
| 使用してはならない消火剤 | : 情報なし |
| 特有の危険有害性 | : 適切な保護具(保護マスク、耐熱性着衣など)を着用する。
可燃性のものを周囲から取り除く。
消火作業は風上から行う。 |
-

6. 漏出時の措置

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 | : 該当しない |
| 環境に対する注意事項 | : 漏出する場合は必ず回収し、環境中に放置してはならない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 回収したものの処分は関連法規に従い、産業廃棄物処理業者に委託する。 |
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|---------|---|
| 取扱 | |
| 技術的対策 | : 火気、静電気などの着火源から遠ざける。
常温で使用する。
取扱い後は手をよく洗うこと。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | : 保管に際しては屋外、直射日光を避け、雨・風に晒されない 40℃以下の条件に保管する。 |

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度 : 特に設定されていない。

許容濃度 : 特に設定されていない。

暴露防止

設備対策 : 特に必要なし

保護具

呼吸器用保護具 : 必要に応じて、保護マスクを使用する。

手の保護具 : 必要に応じて、保護手袋を使用する。

眼の保護具 : 必要に応じて、保護眼鏡を使用する。

皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて、保護着／安全靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 個体(シート状)

色 : 表面=銀色(アルミ)

臭い : 微臭

融点・凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : データなし

動粘性率 : データなし

溶解度 : データなし

n-オクタール/水分配係数(log 値) : データなし

蒸気圧 : データなし

相対密度 : データなし

相対ガス密度 : データなし

粒子特性 : データなし

その他のデータ(放射性、かさ密度、

燃焼持続性)

: なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取扱い、保管条件において安定。
化学的安定性	: 通常の取扱い、保管条件において安定。
危険有害反応可能性	: 通常の取扱い、保管条件において安定。 ただし、アルミ箔においては水とは比表面積が大きい場合は反応して水素と熱を発生する。酸とアルカリとは反応して水素を発生する。 ハロゲン化合物とは比表面積が大きい場合には反応する。
避けるべき条件	: 有用な情報なし
混触危険物質	: 有用な情報なし
危険有害な分解生成物	: 空気中の燃焼時には、CO、CO ₂ 、NO _x などが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	: 製品としての情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 製品としての情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 製品としての情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 製品としての情報なし
生殖細胞変異原性	: 製品としての情報なし
発がん性	: 製品としての情報なし
生殖毒性	: 製品としての情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 製品としての情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 製品としての情報なし
誤えん有害性	: 製品としての情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 製品としての情報なし
残留性・分解性	: 製品としての情報なし
生体蓄積性	: 製品としての情報なし
土壌中の移動性	: 製品としての情報なし
オゾン層への有害性	: 製品としての情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理する。
海、川、その付近及び排水溝に廃棄をしてはならない。
その他関係法令の定めるところに従う。
- 汚染容器及び包装 : 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 国連番号 : 非該当

国内規制

- 海上輸送 : 該当しない
- 航空輸送 : 該当しない
- その他 : その他関係法令が該当する場合、その法に従う

15. 適用法令

- 化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 非該当
- 労働安全衛生法 : 非該当
- 化学物質審査規制法 (化審法) : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 消防法 : 非該当
- 大気汚染防止法 : 非該当
- 水質汚濁防止法 : 非該当
- 海洋汚染防止法 : 非該当
- 水道法 : 非該当
- 下水道法 : 非該当

16. その他の情報

- お問い合わせ先 : 品質保証部
- TEL : 03-5628-7122

注意事項

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、その内容を保証するものではありません。新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用下さい。

参考文献

- NITE/製品評価技術基盤機構データベース
- 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)/国連
- 「許容濃度の勧告」産業衛生学会誌
- ACGIH(2001)(改訂第 14 版)
- ATSDR(2004)
- IARC(国際ガン研究機関)
- GHS 対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック(混合物用(塗料用)/日塗工

以上